

健康と光線

生態系を守る自然保護

これまで太陽光線と生物群集中でも人の生活習慣病との関わりを記述しましたが、生態系の非生物的要素としては、太陽光線の外に水、大気、土壌、地形などがあり、すべてが渾然一体となつて一つの生命のように機能しています。したがって自然と共生して生きる第一歩は、地球の45億年の歴史が凝集した生態系を守ることです。しかし地球に最後に現れた生物の人は、自然界の平衡を超えて個体数(人口)を増やし、自然を人に便利のように作り替え、学問を人に都合の良いように進歩させました。その結果、自然破壊、環境汚染、難病奇病の増加等々、人が予測しなかった事態を招いたのです。

このような状況から人を、また人以外の生物を守るため、今人に求められることは、生態系を守る自然保護のため失うものを受け入れる覚悟です。

人はろくなことをしていない

おたまじやくしが絶滅危惧種に指定されました。人は人のため自然破壊を是認し、十萬種とも言われる人工化学物質で自然環境を汚染した結果、おたまじやくしを含め多くの生物が生きる場を奪い絶滅が危惧されます。そう言えば、先

頃、人工孵化に成功したトキが生き続ける条件を満たした自然も今の日本には残っていません。また最近、内分泌攪乱化学物質(環境ホルモン)やダイオキシンの生殖毒性が注目を集めていますが、食物連鎖の頂点にいる人は最も高濃度で汚染されるため、人の存亡に関わる事態が現実のものとなったのです。とにかく人がすることは、人にも生態系にもろくなことがありません。

今、人に求められること ——自然と共生して生きる 最終回——

オゾン層を破壊した

人が地球のオゾン層を破壊したこともろくなことをしないことのひとつです。オゾン層は地球の宇宙服になぞらえられ、太陽光線のスペクトルの中で最も波長の短いUVBと呼ばれる紫外線を殆ど吸収して生態系を支える一翼を担っていますが、人は人工化学物質のフロンガスでオゾン層を破壊し、地上に降り注ぐUVBが増すという不測の事態を生じさせたのです。恐ろしいことに人が考えもしなかったことが次々に起きています。

言うまでもなく、太陽光線は生態系にあってもなくても良いものではなく、絶対になくしてはならないものです。この太陽光線がオゾン層の破壊で変質すると、生物群集に如何なる影響を及ぼすのか、太陽光線の大恩をわきまえて論じなければなりません。しかるに実際は太陽光線の大恩には一言も触れず、紫外線で日焼けする当たり前の生理作用さえも悪いことのように大袈裟に強調した記事や紫外線(UV)カットを売物にする化粧品の宣伝文の美白などという勝手な造語を真に受けて、中年以降の女性の中に太陽光線は浴びてはいけないと思っている人さえいるのは驚きです。しかし紫外線の作用でビタミンDを生合成する際に必ず起きる日焼けを悪者扱いするのは、オゾン層の破壊という過ちを犯した上に、太陽光線の健康増進効果を失うという二重の過ちを犯すことになります。

サナモア光線協会
サナモア中央診療所
医学博士 宇都宮 光明

自然治癒力を高める自然との共生

生物群集が生きているのは自然治癒力のためです。この自然治癒力は自然と共生して与えられることは、古代人にして

も、未開の地でたくましく生きる人にして、野生の動植物にしても、医学とは無縁なことから容易に納得できるはずですが、

しかし人は文明の進歩に伴って知力に頼るようになり、医学という未完成な学問を過信し、自然と共生して自然治癒力を高める努力をないがしろにして顧みなくなりました。その結果、健康が蝕まれ、生活様式に根ざした文明病と呼ばれる疾病に罹患する患者数が激増しています。

今、自然の恵みの自然治癒力の衰えを防ぎ高めるため、そして健康になるため、自然と共生して生きる生活習慣が求められています。この点について光線医学の立場を一言で述べるなら、自然治癒力は太陽光線のエネルギーを吸収することによって高まることを信じてことです。太陽光線を浴びない生活を余儀なくされている人も、努めて太陽光線を浴びる生活習慣を取り戻せば自然治癒力が高まる霊妙な作用を我が物にできるのです。それには太陽光線の代わりになり、何時でも何処でも利用できるサナモアを活用するのが近道です。さすがに環境汚染物質や難病奇病にも負けない抵抗力が身に付きます。

夏季臨時休業のお知らせ!

八月十三日(金)、十四日(土)の両日臨時休業致しますので、よろしくお願ひ申し上げます。

(株)東京光線療法研究所



宇都宮義真撮影

「くつみがき」

讃光譜



一、目が見える

サナモア治療院を開業している五味さんと一緒に元氣よく入ってきた臼井さんが、「いや驚いた。急に片目が見えなくなつて眼科にかかったら、内科だと言われ内科で色々な検査を受けたが、快復は難しいと言われたのです。でも諦められずに懇意な五味さんに相談し、サナモアを照射したら、三日目頃から段々視力が戻り、十日目には床の間の額の字が見えるようになったのです。こんなに効くとは思っていませんでした。本当に良い体験をさせて貰いました。製薬会社に勤めている息子もサナモア治療院をすることに賛成なので、人助けのため大いに働いて見たいと思っています」と話されました。

そう言えは、最近、満州で憲兵隊長をしている小暮さんの奥さんから頂いた手紙に、ヂステンパーで失明した軍用犬の目が三週間のサナモア照射で見えるようになったと言う知らせがありました。まさに奇蹟のようです。

二、別荘にも

研究所の近くに住む那須さん御夫妻は病気の問屋のような方でした。御主人は耳鼻咽喉科の

手術だけでも大金をはたき、奥さんは開腹手術の後が悪く後悔しています。しかしサナモアを使うようになってからは、医者との縁も前ほどではなくなったようです。御主人は、「全く通らなかつた鼻が通るようになった。カラシを食べても咳込まない」と鼻を片方ずつ押さえて人に自慢しています。このほど別府温泉に新築した別荘が落成し、「別荘にもサナモアを置いて知人の病気を治してやりたい」と張り切っています。

三、その晩から

白金台町で写真材料商を営む川村さんの四歳のお嬢さんが百日咳にかかり、注射を毎日したのに咳はひどくなり、遂に昼も夜もひっきりなしに咳込むようになりなりました。川村さんは医者から「これからもっとひどくなる」と言われてサナモアを思い出し、親として少しでも咳を軽くしてやりたいと思って照射したら、不思議にその晩から殆ど咳が出なくなり、朝まで一度も目を覚まさなかつた、とわざわざお見えになって大変喜ばれました。

四、旧友の持病

郷里の大大で弁護士会の会長をしている旧友の豊田君から、

「実は会議で上京したが、今夜の汽車で帰るので、それまで会えないか」と突然電話がありました。同君とは二十年來の交友があり、短時間でしたが大いに旧交を温めることが出来ました。なお同君から永年悩んでいる持病について相談があり、サナモアで治療を試みることにになりましたが、旧友として一日も早く全快して益々活躍されんことを期待しています。

サナモア通信

宇都宮 義真

五、事業家の経営

これまでの光線治療院は、どちらかと言えば、小規模で始める人が多かったようですが、最近の傾向は本格的に経営に乗り出す事業家が増えてきました。健康帯の元祖で発売元の川副さん、小森電球口金製作所の小森さん、電気工事業の株式会社み

よし組の中橋さん、彦根の堀部時計店の堀部さんなどはその一例ですが、これからの国民の健康に寄与すること頗る大なるものがあると思います。

六、満支より

満支は日本本土と比べると日照に恵まれず、季候も余り良くないので、絶えず健康上の不安があります。サナモアがあればどんなにか心丈夫です。

満支の新京から上京された上田さんは、「サナモアがこれほど効果のあるものとは思いませんでした。段々研究を重ねるうちに、どんな病気でも不思議に治るので、大なる確信を得ました」と色々な病気の多数の治験例を報告して下さいました。同じく青島の所さんは治療所拡張の用向きで上京されましたが、日本人の住むところ必ずサナモアありと言う日も遠くないと思っています。

「光と熱」

昭和14年6月1日発行

二本榎本町通信①

昭和14年7月1日発行

二本榎本町通信②

を要約した。

(二本榎本町通信は研究所が東京都芝区二本榎本町にあったことに由来するが、サナモア通信と改題して掲載した。)

サナモア光線療法とは どんな治療法ですか

サナモア光線療法の原点は太陽光線の健康増進効果です。人類は太古から日光浴が健康を維持して増進させるだけでなく、病気の治療にも有効なことを直

宇都宮 光明

サナモア光線協会 医学博士

サナモア光線療法について

入した先駆者が、現代医学の祖と呼ばれるヒポクラテス（紀元前四六〇年生まれ）です。近代になり、それまでは経験的に行われていた日光療法を科学的に解明しようとする動きが興り、一八七七年に日光の殺菌作用が発見されたのを契機に、日光療法は主として当時は治療

法のなかった結核の治療法として飛躍的な発展を遂げました。その一方で、太陽光線に近似した強力な光線を人工的に再現し放射する光線治療器に対する要望が高まり、一八九三年にデンマークのニールス・フィンゼンがカーボンをアークして燃焼させる人工太陽灯、つまりフィンゼン灯と呼ばれる光線治療器を世界に先駆けて作り出しました。フィンゼンはフィンゼン灯を使って尋常性狼瘡（皮膚結核）に対する光線療法を行って卓越した効果を立証し、一九〇三年にノーベル医学生理学賞を授与されたことは良く知られています。その後、太陽光線にはビタミンDを生合成する作用をはじめさまざまな作用があることが明らかになりましたが、亡父、宇都宮義真はいち早く光線療法の効能に着目して、昭和7年に東京光線療法研究所を設立し、家庭用にも適する小型に改良したカーボンアーク灯の製造に加えてイビデン（株）の協力を得て最高品質の医療用カーボンの開発に成功しました。父は自社製品をサナモアと命名し、率先して啓蒙、普及活動に努めました。今日のサナモア光線療法の礎を築いたのです。なおサナモアとは父が健康増進と病気が治るという意味のサナトリウム、もったの意味のモアを組み合わせて

サナモア光線療法の 治療院を開業する資格

現在、法的には光線療法の治療院を開業する資格制度は定められていませんが、昭和35年に最高裁が有害と立証されない無害な治療法は憲法が定める職業選択の自由が優先し、みだりに禁止、処罰してはならない、と言う注目すべき判例を出し、新聞でも一斉に報道されま

縮めた造語です。

サナモア光線療法は どんな病気に効きますか

サナモア光線療法の適応症は非常に多いので、万病で効果を試してみてください。こう言う、常識人ほどどんな病気に効く治療法などあるわけがない、と半信半疑を通り越して一信九十九疑になるかも知れません。それは病気はまず診断があって、次に診断に則した薬か手術で治す、という現代医学の方程式をひたすら信じているからです。ここで見られる決定的な誤りは、生命力、言い換えるなら自然治

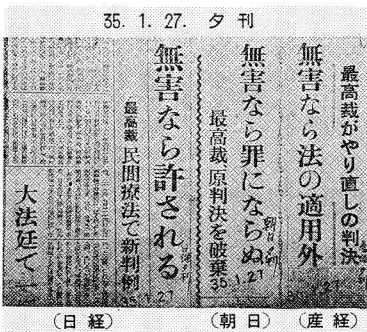
院は病人を対象に業として行うことから、開業には一定の資質が求められると考えています。

なおサナモア光線協会は、近々サナモア中央診療所付属の治療院を開設しますが、これを機に協会が定めるカリキュラムに則ったサナモア光線療法の治療師を養成することを計画しています。次号に詳細を掲載する予定です。

癒力を忘れていくことです。

一方、サナモア光線療法は、太陽光線は地球の創世からあって地球の生命を生み育んだ源であり、主要な作用に生命の存続を助ける自然治癒力を高める作用がある、との考えに基づいた治療法です。その上、薬のように副作用を気遣う必要はなく、また手術のように危険を伴うこともないため、これまでにも多くの先人によって多種多様な病気の治療に応用され、治療効果が確かめられてきたのです。

病気を診ずして病人を診よ、という戒めの言葉がありますが、病気の治療法を治る治らないだけで律してはなりません。殊に予後について死を宣告されているような重症な患者では、効果が対症療法の域を出なかったとしても症状が改善し、食欲が出る、眠れるようになる、体調が良くなり気力が増す、生きる意欲が高まるなど、生活の質の向上に結び付くなら立派な治療法です。サナモア光線療法はこのような観点からも病人の病状の改善に役立ちます。これが万病で効果を試してみてくださいと言う所以なのです。

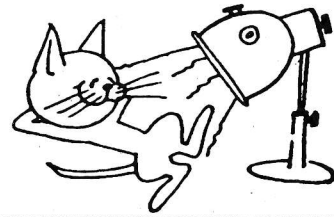


☆いぼ痔(痔核発作)

症例 26歳 女性 主婦
 症状 出産後に痔核発作を起こし、立って歩けないほどの激痛で這って用を足したが、寝てもじんじん痛んだ。産院の医師はいぼ痔(痔核)の大きいのが一個、中が二個、小が三個、計六個あると言う。実家の親の勧めもあり、サナモアで治したいと相談してきた。

療法経過 Bカーボンで集光して肛門60分、日に二乃至三回の照射、ABカーボンで腹、腰、膝各10分、足裏20分の照射を指示したが、患部には長時間の照射がより良い効果を上げることが付け加え、経過を順次知らせてほしいと話した。

初日は午後2時から12時まで



— 治 験 例 報 告 —

一時間照射しては授乳などで数十分休み、また一時間照射した。いぼ痔の腫れは変わらなかつたが痛みは和らぎぐつすりとお眠れた。二日目は午前11時から午後12時まで同様に照射し、腫れは少し小さくなり痛みは随分楽になった。三日目は午前7時から午後12時まで休み休み照射した。排便毎に出血していた大きいいぼ痔はしぼんでカサカサになり、全体に腫れは小さくなり、動かなければ痛みは殆どなく、寝ていけば感じなくなつた。四日目は前日と同様に照射したが、中小のいぼ痔はしぼんでしまい、大きないぼ痔も更に小さくなり、歩き回っても痛まず、座るのも大変楽になった。五日目、六日も同様に照射を続けたが、大きないぼ痔は三分の一以下まで小さくなった。

以前にも日に14時間照射した

☆面 疔

症例 28歳 女性 オペラ歌手
 症状 五、六年前から頭におできが出来易く、その都度、皮膚科で抗生物質の治療を受けてきた。今回も頭のおできで抗生物質を服用していたが、顔の中央が赤く腫れ痛み、熱が出たため、劇団の上司から夜の11時頃に電話で治療を依頼された。今夜は遅いので明日来るよう伝え、翌

経験例があるが、このように長時間の照射をしても疲労等が少くないのは、集光器で照射面積を狭くするからであり、受光量×時間の積の値が抑えられる光線療法の基本となる概念を理解する必要がある。

その後の一週間は日に五、六時間照射したが、苦しみ抜いた症状は完全に消失した。今は再発予防のため二、三時間照射しているが、光線療法の効果を信じ、光線療法で治すと言う強い意志で治療に徹したことで短期間で目を見張る効果を上げたのである。

神戸市 ウエノ光線療研
 上野 健太郎氏報告
 TEL078-8133211-358

☆歯肉炎(歯周病)

症例 48歳 女性
 症状 二十数年のサナモア愛用者から、右上奥歯の虫歯の治療を終えたのに痛むので、BBで照射したが痛みが止まらないと電話があった。光線はこのまま続け歯科医の診察を受けるよう勧めたが、二三日後に電話があり、歯周病に歯肉炎を併発し膿がたまっているので切開すると言われたのを断って帰宅し、この場合の治療法を問い合わせた。

早朝に付き添いと来所したが、顔は両まぶたが開かないほど腫れ、頭にはおできがあり、微熱、頭痛、食欲不振、冷え性があった。

療法経過 カーボンはBC、AB、BDを使い多灯照射した。側臥位で顔60分、腰、膝、後頭部、腹、頭頂部、足裏に各10分、仰臥位で左右から顔、肩、腰、膝に各10分照射した。

サナモアカーボンの類似品にご注意下さい

サナモアA、B、C、Dカーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともども愛用者各位の御信頼を頂き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことは、皆様方よくご存知の通りであります。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセッとしたり、サナモアABCDと効果が同じという根拠もないような文句で互換表を添付して販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる行為をする者が何時の世にもいますが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任はもてませんので、ご注意下さい。

(サナモアカーボンには、製造元イビデン株式会社の商標「B」のマークが必ずついています)

東京光線療法研究所

療法経過

BBカーボンで患部(奥歯)に口内からガラス管(三号集光器)を使い30分一時間位、外から二号集光器を使い30分以上、痛みが止まるまで照射するよう指示した。

約一ヶ月して電話があり、奥歯にガラス管で照射しにくいため、外からしか照射しなかつたが、歯肉炎は排膿して元治した。しかし別の歯が歯周病で痛むので指示されたように治療すると言うので、歯周病には体質の改善と強化が要するため、ABかBDかBCで足裏、膝、腰、腹、背、後頭部にも十分に照射するように伝えた。

福岡県春日市 育美健康光線療研

山崎 いく子氏報告

TEL092-5811203
 五七二一五七三

川崎市 東京光線治療院
 海渡 一二三氏報告
 TEL044-72215067

この程、3月で大学病院を辞し、光線療法法の啓蒙、普及に尽力することとなりましたので、サナモア御愛用者の皆様、宜しくお願い申し上げます。

今後は、内科診療で培った経験を生かし、光線療法を主体としたホリスティック(全的)な健康観に立脚した、疾病の診療および治療に全力を傾ける所存であります。

現代医学にも限界がある

私は医師として過ごした12年の中で、西洋医学の功績に直接触れることができたが、西洋医学もまだ未完成であり、今後さらに発展したとしても決して完璧にはなり得ないことを実感致しました。一般の方は、病気のことを医師は何でも知っており、現代医学では、その成因のほとんどが説明されたものと思いがちです。確かに、やたらと難しい病名や薬の説明を一方的に受け、現在の医療構造が、すべての面において病院医療中心なのですから当たり前ですが、病気の成因に関しては明らかにされていないものが圧倒的に多いのです。医師に説明を受けた際、「特発性……」という病名を耳にした経験をお持ちの方も多いと思います。特発性とは聞こえはよいのですが、原因が明らかでない場合に特発性と称しているだけなのです。また、「……症候群」という病名も、一種の病気に特定できないために、ある症候を呈する疾患群をグループ化しただけです。難しい名前前の病気の多くも原因が特定できていないと考えたほうが無難

です。ここで、早めに断っておきますが、私は決して西洋医学を否定しているわけではありません。私もその世界にどっぷりと浸り、実際に、主治医として治療にあたっておりましたから、その功績や成果は十分承知しているつもりです。感染症に対する抗生物質の開発で多くの命が救われましたし、胃潰瘍の治療薬の出現で胃切除をせざるに済むようになりました。その他、手術手技、麻酔技術の発達など数え上げればきりがありません。しかしながら、西洋医学がいくら発達しても、複雑極まりない私たちの心や体を癒し、健康に保つことには限界があると考えているのです。

近代西洋医学の理念

近代医学の誕生は、16世紀に活躍したベルギーの解剖学者、ヴェサリウスの名著「人体のファブリカについて」からと言われています。「ファブリカ」とは構造物といった意味で、人体の構造と組成を細部にわたり明らかにしたその仕事は、体の諸臓

これから医療のゆくえ

代替医療から統合医学へ

サナモア光線協会
医学博士

宇都宮 正範

器をあたかも部品のごとくみなし、体を機械的に捉える現代医学の根本思想につながる近代的な科学精神を示したものでした。そして、その「ファブリカ」の科学精神に基づいたハーヴェーの「血液循環論」こそが、近代医学の誕生を決定づけるものでした。この著書の中でハーヴェーは、血液が閉鎖系である人体の中で完全に循環していること、循環の駆動力が心臓のポンプ作用であることを発見しました。さらに、18世紀にモルガニーの「解剖研究による病気の座と原

きないものはすべて否定されることになったのです。そして、今、現代医学は、その科学精神を追い続け、修理不可能な故障部品は交換すれば良いという発想から臓器移植にいたりました。さらには、将来に深刻な問題を引き起こす可能性を含みながら、遺伝子操作や人工授精、男女の産み分けなどが行われているのです。

代替医療が意味するもの

それでは、すべての人が近代西洋医学だけで満足しているのでしょうか。個人差はあると思いますが、この多様化の時代にすべての人を満足させることができる医療は存在しないと思います。現に、医師に処方された薬を飲まずに、

を中心として叫ばれ始めました。この頃の日本は、欧米の先進医療を取り入れることに躍起になっていたのではないかと思います。既に近代的価値観に基づいた西洋医学を反省する風潮も芽生えていたわけですね。具体的には、西洋医学を補完、または、それに替わりうる治療法を「代替医療」と称すると考えて下さい。例えば、中国四千年の歴史に裏付けされた鍼治療やお灸、漢方薬などの中国医学は一般にも馴染み深いところですが、他に、インド医学などの伝統医学やオステオパシーやカイロプラクティック、マッサージ、ヨガ、ハーブ、アロマテラピーなどありとあらゆる療法が、この枠組みに入ります。また、現在のところ、世界で「代替医療」の筆頭にあげられる療法に「ホメオパシー」(同種療法)があります。「ホメオパシー」は、ドイツ人医師、ハーネマンによって19世紀初頭に考案された治療法で、同種療法とは、患者の症状と類似した症状を起こさせる薬剤を使うことを意味しています。つまり、西洋医学では、発熱には解熱剤を、下痢には下痢止めをといたように、患者の訴える症状は敵であると考え、反対の作用を有する薬剤を使います。これを「アロパシー」(対症療法)といいます。これに対し、「ホメオパシー」では

(五ページからつづく)

それとは逆に、症状は味方であり、自力で直そうとする生体反応であるから、有効に利用したほうが良いと考え、かぜをひいたら、解熱剤でなく、発熱させるような薬剤を飲ませます。現段階では、科学でまだ十分な証明はされていませんが、経験的に効果が実証されているため、「代替医療」の代表となっているのです。そして、これらすべての療法は、経験的には効用が認められているものの、科学的には証明されておらず非科学的なものばかりで、共通することは、「自然治癒力」の賦活を目標にしているということです。

「代替医療」の広がり

近年、欧米を中心とした「代替医療」の広がりは目覚しく、とくに米国では一九九三年、人々が「代替医療」に費やした費用が年間二兆円を超え、西洋医学の病院に支払った年間費用をはじめてうわまわりました。さらに驚くべきは、その前年にはNIH(米国立保健研究所)に「代替医療研究室」が設置され、国費で代替医療の科学的研究が開始されたのです。NIHは現代医学の最先端の研究を推し進めている施設で、がんの遺伝子治療やエイズの研究にも力を注いでおりますが、一方で、このような非科学的な療法の研究も行っており、懐の深さを感じます。そして、大学の医学部

においても、次々に、「代替医療研究センター」が開設され、現在では、約20校で研究や教育が行われているのです。残念なことには、日本ではまだその段階に到達しておらず、一部の先進的な人々を除いて、医療は西洋医学が行うものと信じているのが実状です。これは、本邦の保険制度にも起因しますが、詐欺まがいの民間療法と真の意味での「代替医療」の区別が一般の方には難しく、不安感を募らせていることも一因ではないかと思っています。

これからの医療「統合医学」

また、一部の欧米諸国では、すでに、現代西洋医学と「代替医療」のそれぞれの長所を合わせた「統合医学」という概念が生まれています。「統合医学」は、単に西洋医学と「代替医療」を寄せ集めただけではありません。それは、それぞれの長所、短所を研究し、その中から、従来の西洋医学でもなく、「代替医療」でもない、新しいスタイルの医学として位置付けられています。現在の医療社会では、多くの患者が最初に西洋医学の病院を受診し、そこで医師に見放されるか、あるいは満足な治療効果を得られなかった患者のみが、救いを求めて代替療法家を受診するケースがほとんどです。しかし、「統合医学」という概念が浸透した医療社会では、最初から患者が、代替療法家を

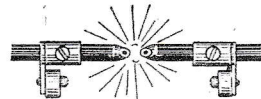
受診するケースもあるのではないのでしょうか。繰り返しますが、私は決して西洋医学を否定しているのではなく、まず、医師が自分たちの医学・医療に固執するのではなく、世の中には様々な治療法が存在し、非科学的な療法でも、十分な治療効果が得られる場合もあるということを認識してほしいのです。そして、その上で、それぞれの療法の長所を、最大限に病気の治療に活用することができたなら、きっと、輝かしい未来の医療が開けると 생각합니다。

医療環境を整える

今回は、「これからの医療のゆくえ」と題し、述べさせていたいただきましたが、一番大事なことは、医療に携わる一人一人が、広い視野をもち様々な療法を知ること、患者が、安心してその中から自分に合った療法を選択できる環境を整備することです。西洋医学は、今後その科学的精神に基づき、発展することでしょう。でも、決してそれがすべてではないのです。当社の光線療法も、多くのサナモア御愛用者の方々を支えられ、昭和7年からおよそ70年続いており、私どもは、さらなる普及を目指しております。

最後になりますが、この場をかりて、当社も光線治療を受けることができる施設の開業を、近々予定していることをお知らせ致します。

サナモア



Senemore

サナモア光線協会

趣意書

天地創造の昔から、真の光、即ち太陽光線は、私たちに限らない恩恵を与えています。サナモア光線療法は、この太陽光線の健康増進、疾病予防および治療効果を利用した治療法です。従つて、目に見える可視光線だけでなく、目には見えないが無くしてはならない紫外線や赤外線を目的に的に応じて適切に放射しなければなりません。

このサナモア愛用者を以て、光線療法の研究を行うと共に、啓蒙、普及活動を行うためサナモア光線協会を設立しました。サナモア光線協会は、設立の趣旨に賛同戴いた会員にて構成し、季刊紙「健康と光線」を発行します。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

協会では、会員を募集しております。
入会希望者は、左記宛御申込み下さい。

〒153-0063 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会 TEL (03) 三七九三—五二八二
三七二—五三三三

(本紙の無断転用を禁止します。)